

タイにおいてトップセールスを実施しました (2019年8月24日～27日)

タイは近年訪日旅行者数の伸びが著しく、本年10月29日にバンコクと仙台を結ぶ国際定期便の再就航が予定され、観光分野のみならず経済分野の交流拡大も期待されています。このようなタイにおいて、今後の双方向交流の拡大に向けた関係構築・強化を図るため、東北6県、新潟県及び仙台市の知事等をはじめとする東北の官民トップがバンコクを訪問してトップセールス事業を実施しました。

8月26日にはタイ国政府観光庁総裁と会見するとともに、同庁主催による夕食会に出席し、総裁をはじめとする同庁幹部と相互交流拡大の可能性について活発な意見交換を行いました。

8月27日には午前中タイ国際航空本社を訪問し、同社のスメート・ダムロンチャイタム社長以下経営幹部と会見し、バンコク～仙台線の再就航への御礼を伝えるとともに、同路線の双方向での活用促進に向けた意見交換を行いました。

さらに同日午後には、観光・スポーツ省副大臣をはじめとするタイ政府関係者やタイ旅行業協会の幹部をはじめとする現地観光関係者、さらに在タイ日本大使館や日系航空会社の現地支店等にご出席いただき交流懇談会を実施しました。東観推会長の小縣より、タイ国際航空バンコク～仙台線の復活を契機としたタイと東北地方の相互交流の拡大の依頼を行ったほか、東観推専務理事の紺野及び東北各県知事、副知事より東北観光の魅力、各県のトピックス等の説明を行い、訪東北旅行の拡大に向けた協力の要請を行いました。

また、交流懇談会後には夕食会を開催し、青森のねぶた囃子や仙台すずめ踊り、山形花笠音頭を披露して東北の魅力を発信しました。



【交流懇談会の様子】



【観光・スポーツ副大臣も出席】



【記念撮影】

トップセールスに先立つ8月24日及び25日の両日には、バンコクの一般消費者に対し東北の魅力を発信するため、バンコク中心部のショッピングセンター「Em Quartier」において、「日本政府観光局（JNTO）主催によるイベント「ガーン・ティアウ・トーホク・イーブン（日本東北観光フェア）」が開催されました。

8月24日の開催記念セレモニーにおいては、東北6県及び仙台市の副知事・部局長等が出席し、東観推専務理事の紺野が代表挨拶を行いました。また、会期中は東北地域の祭りの披露、東北各県の自治体・事業者等による観光素材の紹介、現地旅行会社による訪東北旅行商品販促等が行われましたが、両日とも多くの来場者が訪れ、東北への注目度の高さをうかがうことができました。



【賑わうブース】



【開催記念セレモニーの様子】



【東北の祭りPR】

中国においてウィンタースポーツ愛好者等を対象としたセミナーを開催しました (2019年8月17日～18日)

8月17日に北京、18日に瀋陽において、スキークラブ関係者やウィンタースポーツ愛好者等を対象に、東北スキーセミナーを開催しました。

本セミナーは、2022年の北京冬季オリンピック開催に向け、国策を背景にウィンタースポーツ人口が増加している中国において、東北のスキー場の認知度向上により東北への誘客を図るもので、両会場とも100名を超える参加がありました。参加者の中にはセミナーの内容を、会場からSNSで発信する方もいらっしゃるなど、今シーズンの誘客に向けて一定の情報発信・拡散を図ることができました。また、両市所在のスキークラブを数団体訪問して分かったのは、スキークラブの代表者クラスには訪東北経験がある方も多いものの、それ以外の会員間では東北の認知度がまだまだ不足しているという事でした。今後も継続的に、効果的な情報発信を続けていく必要性を認識しました。

特に遼寧省は、上海・北京等に比べ訪日客数はまだ少ない状況にあることから、これまでトップセールス等で構築してきた関係に加え、仙台～大連便が11月2日に運航を再開することなどを契機として、さらなる認知度向上・誘客促進に努めてまいります。



【スキーセミナー(瀋陽会場)】



【スキークラブ訪問】

韓国の旅行会社を招請しました (2019年8月26日～29日)

8月26日から29日にかけて、韓国内で人気の高い登山・トレッキングを通じた東北地域への誘客促進を図り、新たな旅行商品を造成していただくことを目的に、現地の旅行会社を招請しました。

宮城オルレ及びみちのく潮風トレイルのトレッキングや早池峰山登山などを体験していただき、自然の風景を見たり舗装されていない道を歩くことが強い関心を集めました。

また、早池峰山登山の後花巻温泉に向かうコースは、韓国の登山愛好家にとっても魅力的であったようで、花巻温泉からの送迎の体制や宿泊部屋及び宴会会場の広さ等を熱心に確認する姿がみられました。

韓国市場においては外国人宿泊者数がいまだ震災前の水準に達していない状況にありますが、今後も登山・トレッキングといったコンテンツを生かし、更なる誘客促進のために努めてまいります。



【宮城オルレ】



【早池峰山】

ロコミサイト活用セミナーを開催しました (釜石市：8月23日、山形市：8月29日)

8月23日に釜石市において、また8月29日は山形市において、ロコミサイトセミナーを開催しました。第1部では、株式会社トリップアドバイザーの松本様・古賀様より、トリップアドバイザーの基本情報やオーナー登録の方法、トリップアドバイザーを上手に活用している施設の例などをご紹介いただきました。

釜石市の第2部ではじゃらんリサーチセンターの山田様から、ロコミを怖がらずチャンスに変えていくための方法について、「顧客満足(CS)」という視点を交えて、ご講演いただきました。来るラグビーワールドカップ本戦(9月25日、10月13日)の際には多数の観光客の来訪が予想され、これを機に県内外から来訪される方々から多くのロコミを収集できるよう、みなさん真剣に聞き入っていました。

山形会場の第2部では、株式会社ゼロイン Deep Japan事業部の木立様より、外国人観光客が旅行先を決定する際のプロセスの紹介を交え、ロコミサイトで集客に成功している事例や情報発信のコツについてご講演いただきました。



【8/23 釜石会場】



【8/29 山形会場】

富裕層向け国内旅行会社を招請しました（2019年7月30日～8月3日）

7月30日から8月3日にかけて、訪日富裕層旅行を取り扱う国内の旅行会社4社を招請し、南東北の観光地を視察しました。

富裕層向けの観光コンテンツとして、東北の伝統文化を特別な場所で個別に体験できるものや、職人等による優れた技法・作品についての説明が充実しているものなどが高い評価を受けました。

参加者からは、京都と東北を比較し、オーバーツーリズム状態の京都に比べ、ゆったり観光できるとのコメントが聞かれ、東北の純朴な雰囲気、温かいおもてなしなどが大変好評でした。

また、南東北3県・仙台市、東観推と旅行会社との意見交換を行いました。宿泊施設の重要性や食事対応のフレキシビリティ、移動時間への配慮、特別感の付与等の富裕層旅行のポイントについて意見を交わし、今後の取組に向けて理解を深めることができました。

今後、欧州旅行会社のFAMや富裕層旅行の商談会への出展等を通じて、東北への着実な誘客促進を図ってまいります。



【仙台筆筍金具工房】



【酒田舞娘(相馬樓)】

極東ロシアのメディアを招請しました（2019年8月23日～27日）

2017年のビザ発給要件緩和による個人旅行者の増加などにより、2018年のロシアからの訪日旅行者は94,800人と過去最高を記録するなど、ロシアからの訪日旅行者数は大きく増加しています。

こうした増加するロシア人旅行者に対し、東北観光の魅力を発信することを目的に、極東ロシア（ウラジオストク・ハバロフスク）と直行便を持つ北海道・新潟県と東観推が広域連携し、北海道から東北を経由して新潟県にまたがるツアーに極東ロシアのメディア関係者（ウラジオストク、ハバロフスクのWEBメディア及びブロッガー各1名、計4名）を招請しました。

9日間の行程のうち、8月23日から27日の5日間、東北4県（岩手、宮城、山形、福島）及び新潟県を取材していただきました。

東観推が同行した東北4県の行程では、北海道との差別化を意識し、東北各県の強みである日本の歴史・文化を体感することができるスポットを中心に行程を組み、東北全体が持つ観光の魅力を体感していただきました。

メディア関係者からの各訪問先への評価は好意的で、極東ロシアの人々が日本に求めるイメージ（自然・歴史・文化）に東北は合致しており、東京などと比べて静かに旅行ができることも魅力的である、との意見をいただきました。

一方、東北はエリアが非常に広く、どこに訪れるべきか分かりづらいことから、狭いエリアの周遊ルートを複数作成して案内すべきとのアドバイスもいただきました。今回のメディア招請を契機として、ロシアからの東北への誘客促進に向けて、さらなる認知度向上に取り組んでまいります。



【わんこそば体験】



【瑞巖寺】



【鶴ヶ城】



【東山温泉】



【上杉神社】

関東地区公立中学修学旅行委員会（関修委）招請事業を実施しました （2019年8月18日～20日）

8月18日～20日にかけて、全国修学旅行研究協会と連携し、山形県内において、東北地区への教育旅行誘致を目的とした関東地区公立中学校修学旅行委員会招請事業を実施しました。

ご参加いただいた先生方には、伝統体験施設の見学などを通じて東北地方の歴史文化に触れていただき、修学旅行受入業者との情報交換を実施するなど、東北における修学旅行等の実施方法について研修していただきました。

関東地区にとって山形県での教育旅行実施は少ない状況にあります。今回ご参加の先生方より「生きる力を学ぶ教育体験」や「出羽三山での信仰の教え」など山形を目的として選定する為の「評価」や「改善点」などご意見いただき、山形での教育旅行実施へのイメージをもていただきました。

今回お呼びした中学校の来年度又は再来年度の教育旅行実施に向けて、今後とも地域と連携し、教育旅行実施へ向け誘致活動を行ってまいります。



【教育旅行セミナー】



【山形県お出迎え】

首都圏エージェント若手社員を対象とした研修会を実施しました （2019年8月26日～28日）

8月26日から28日にかけて、東北への教育旅行誘致拡大を目的に、首都圏の旅行会社の若手社員の方々を対象とした招請事業を実施しました。

本年度は、北東北（青森・秋田・岩手）の3県を訪問し、歴史文化、民泊、体験など様々な学習メニューや現地受入れ環境を視察・研修いただき、合わせて青森県、秋田県の現地観光関係者の皆様との商談会を開催しました。

今回は旅行会社5社から20～26歳の若手の皆様14名にご参加を頂きました。14名中12名は新入社員の方で、また東北を訪れた経験がない方がほとんどでしたが、東北への訪問未経験の方を想定したコースの設定等を行っていたことから、効果的な研修会とすることができました。

参加者からは東北に教育旅行に活かせるコンテンツがこんなにたくさんあるとは知らなかったなどの声もあり、学校への提案に向けての具体的なイメージを持てたことができました。

今後も東北が一体となり、教育旅行誘致活動を行ってまいります。



【視察の様子】



【商談会の様子】

台湾の教育旅行関係者を招請しました （2019年8月24日～28日）

8月24日から28日にかけて、台湾・宜蘭県の高校の校長・副校長計3名をお招きし、東北への教育旅行誘致に向け、太平洋沿岸の正確な情報発信を行い、復興の姿を防災ツーリズムとして広く誘客することを目的として招請事業を実施しました。

来訪いただいた宜蘭県の高校は、すでに東京都や九州地区の高校と学校交流を行っており、日本国内で次の学校交流先の地域を探しておられる学校でした。

訪問先の福島県、宮城県では「防災学習」「生命学習」に関する視察を多く取り入れ、東北太平洋沿岸だからこそ学べる素材を中心にいただきました。

震災遺構荒浜小学校では、震災前の街の様子と現在の街の様子を見比べ、被害の大きさや復興の進み具合について様々な感想を持たれていました。

南三陸町では多くの教育旅行受入経験を踏まえた町の教育旅行プログラムの説明を受け、教育旅行実施に向けての具体的なイメージを持ていただきました。

今回お呼びした高校の来年度又は再来年度の教育旅行実施に向けて、今後とも丁寧なフォローアップを行ってまいります。



【震災遺構荒浜小学校】



【南三陸町教育旅行プログラム】

今後開催予定のセミナー

第3回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年9月19日（木）

【会場】酒田勤労者福祉センター

【内容】セミナー

「世界に通用する魅力ある観光地域づくり
～地域DMOの果たす役割～」

【講師】見並 陽一氏

（株式会社トラベルサービス顧問、公益財団法人 日本観光推進協会前理事長）

第4回フェニックス塾（第一部セミナー）

【日時】2019年10月11日（月）

【会場】秋田市民交流プラザ

【内容】セミナー

「訪東北外国人旅行者による経済効果」

【講師】新津 研一氏

（ジャパンショッピングツーリズム協会
代表理事/事務局長）

第7回 東北歴史文化講座

概要：東日本旅客鉄道(株)と共に、東北エリアの活性化を目的に東北各県に焦点を当て、東北の奥深い魅力を歴史・文化といった独自性のテーマを掘り下げて紹介する歴史文化講座。

1部「福島県」伊達政宗の挑戦、蒲生氏郷の理想～会津に交差した戦国武将たちの命運～

2部「秋田県」いま求められる“旅マタギ”～狩猟の民はなぜ山を越えたのか～

【日時】2019年11月16日（土） 1部 13:00～ 2部 16:30～

【会場】ベルサール秋葉原

【詳細・申込】どなたでもご聴講できます（有料）

<https://www.jreast.co.jp/tohokurekishi/>



今後出展予定の海外旅行博、開催予定の海外イベント

・香港市場に向けたプロモーション事業：2019年10月4日（金）～6日（日）

訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるといった外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が日本全体の1%程度と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様の協力が必要です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします

●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアルを作成しました。これを見れば、オーナー登録の方法、困ったときどうすればいいか、どうやって口コミに返信すればよいかがわかります。ぜひご活用ください。

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf



東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者
※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。
申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.012 2019年9月13日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！